

超 我 の 奉 仕  
SERVICE ABOVE SELF

# IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881  
 例 会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121  
 会 長/秋山 勤 幹 事/松尾康弘 会報委員長/播谷建郎 姉妹クラブ:台北 西北区 扶輪 社  
 委 員/野田.倉内 双子クラブ:インドネシア・チネレRC・ジョグジャカルタRC

No. 11 平成17年 9月 28日

## 本 日 の 卓 話

9月 28日 (水)

「5分間スピーチ」

長澤、久保、野田、吉田各会員

## 出席報告

第2253回例会			前々回(第2251回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
32 (8)	17	7	70.83 %	3	87.5 %

## 例会記録

第2253 回例会 9月 21日(水)晴  
 ローターソング「四つのテスト」斉唱  
 ビジターご紹介  
 辻田忠治君 (大阪西RC)

## 会長の時間

秋山 勤会長

11日から17日まで、デンバサル、台北を訪問し、全員無事に帰ってきました。

大勢が長い間留守にして、何かとご迷惑をかけた事と思います。厚くお礼申し上げます。

さて、旅行の詳しい話は、後ほどまた報告があると思いますが、・・・滞在中、早朝から夜までずっとデンバサル・コタ RC にお世話になり、キンタマニ区ステル村へも行くことが出来ました。また、ダンプリフ村の小学校へ学用品を届けた際には、バリ・マンダラ RC にもお世話になり、村の大歓迎を受けてきました。

殆ど面識の無い人達が献身的に尽くして下さる姿を見て、さすがロータリアンと感心するとともに、国際的に連携するロータリー活動のすばらしい一面に触れた思いで感激しました。



ダンプリフ村の小学校

台北西北 RC の創立45周年記念に頂いた額と、デンバサルで頂いたバナー類をご披露して、会長の時間を終わります。

## 幹事報告

松尾康弘幹事

### 1、RI及び2660地区連絡事項

- 1) 米山月間用資料(米山奨学事業豆辞典、2004年度事業報告、統計・資料、寄付マニュアル、新生0-列-米山奨学事業、冊子のご紹介等)
- 2) ローター米山奨学寄付金状況(8月末)、ハイライトよねやま66号67号

## 2、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 茨木養護学校体育大会の案内 10/2(日)  
9:30~15:00 於:本校運動場
- 2) 第56回茨木市美術展表彰式の案内 10/8  
(土)14:00~15:00 於:福祉文化会館



## 《地区大会の案内》

大阪西RC 辻田忠治会員

第1日目 12月9日(金)13:30~17:00

於:リーガロイヤルホテル

- 14:00~ 会長幹事懇談会
- 15:00~ 家族のつどい
- 17:00~ RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

第2日目 12月10日(土)9:30~16:15

於:大阪国際会議場

- 10:30~ 本会議
- 12:00 昼食 お弁当あり
- 11:00~ 14:00 お茶席 裏千家
- 13:15~ 各種表彰・委員会報告
- 14:05~ 記念講演
- 16:45~ 懇親パーティー

詳しくはパンフレットをご覧ください。

年に1度のローアリアンの祭典を、ご期待に添えるよう努力しております。任意登録でございますので、ご家族様と合わせてご協力をお願い致します。

## 卓 話

「インドネシア・バリ島奉仕活動旅行報告」

国際奉仕委員会 笠原隆之助委員

9月12日(月)

バリ島、キンタマニ郡ステル村へワンボックスの車で2時間30分程、細い地道を揺られながら到着。ミカン畑で生計を立てている1070家族の小さな集落で、ミカンそのものも誠に栄養不良で小粒、又、老人を見かけませんでしたからおそらく長生きは出来ないと思われる。

松林の中に細い山道が250m位ガケ下まで続いている。村人は毎日(延べ人数150人)

頭に壺を乗せて水を汲みに行く。我々も現場を見るべく坂道を降り始めましたが、勿論階段や手すりもなく危険な為中止。若いRACの田中君に写真撮影をしてもらうために降りてもらいました。その水汲み場の水をポンプで汲み上げ平地までパイプを通してタンクに貯える。その水を各々の家庭には人力で運ぶ、という「水のプロジェクト」をデンバサール・コタ、高槻西、茨木RCとの共同事業で行いたいと計画しております。その後、また2時間程ドライブをしてバリ市内に戻り、コタRACの活動のひとつであるデザインスタジオ「ボグボグ」を見学しました。Tシャツ、手提げ袋、等々を販売しております。又、このRACはなかなか活発で英語のマンガ本を作ってロータリーの紹介に努めています。

夜はバリ島のRAC5つのグループと茨木RACが会合を持ち、交流を致しました。

9月13日(火)

ニティ・マンダラRCとの共同事業で、ジェンプラナ市、グンプリフ村の小学校SDN2に文房具、運動具を約90人分贈呈に行きました。これも、バリ市内より3台のワンボックスカーに分乗して約2時間。段々畑ばかりの人家のほとんど見えない丘の上に小学校がありました。ジェンプラナ市教育委員会の人たち、学校の先生、保護者、村人、何より目の輝いた生徒達の大歓声を浴びて無事に贈呈式を終わりました。皆様からお預かりしておりましたお金は充分役目を果たしました。厚く御礼を申し上げます。

デンバサール・コタの以前の会長・ダマさんのお宅で晩ご飯を頂き12日に現地を確認した「ステル村・水のプロジェクト」の承認式をしました。

9月14日(水)

台北・西北 RC の45周年記念の前夜祭に参加。台湾にきてやっと澄んだ水のお風呂に入りました。

9月15日(木)

台北・西北 RC の記念祝賀会に先立ち、秋山会長、松尾幹事と共に台北・西北 RC が勤める W. C. S. 「カンボジアに井戸を掘る事業」の説明会に出席しました。茨木 RC の他に川越、茅ヶ崎、世田谷、名古屋北の4つの RC と台北・西北 RC は姉妹クラブ締結をしており、一緒に会議に参加しました。台北・西北 RC は、万が一 R. I. から承認を得られなくても、5つの姉妹クラブと独自に計画を推進したいとの強い決意表明がありました。

今期のティム会長は、国際奉仕に関して長澤前会長からいろいろと勉強させてもらった旨の表明があり、茨木 RC に関して、他の姉妹クラブより強い親愛の情と気配りを示され、我々も鼻が高く先輩方のご努力に深く感謝したいと思いました。又、記念祝賀会当日には、大森パスト・ガバナー夫妻がご出席下さり、我々茨木チームも大いに盛り上がりました事を付け加えさせていただきます。

本日計 99,000円

累計 712,246円

### 次回卓話

「職業奉仕月間に因んで」

RI 第2660地区 菅生浩三パストガバナー

### 三二情報

3、決議 23 - 34 について

決議文は全体として、6節から成り立っている。

第1節は、思想としてのロータリーは何か

それは、「ロータリーは、根本的には、自己のために利益を得ようとする欲望と他人に奉仕しようとする義務間の中に起こる心の葛藤を調和させようとする人生の哲学である。」とする。そして、その哲学とは、

“Service above self” 超我の奉仕の理念であり、“He profits most who service best” 最もよく奉仕するものが、最も多く報われる、という実践倫理の原理に基づいている、とする。

第2節は、ロータリークラブとは、以上のロータリーの哲学—理論は、職業に成功を、人生に幸福をもたらすものである。

されば、この理論をクラブにおいて、例会や諸会合で団体で皆で学ぶものである。したがって、師弟は無い。それぞれが師であり、弟である。ロータリーには、上下の別は無い。

第二にロータリーは地域社会から集まった人材なるが故に、一般地域の人達に、この理論を提唱しなければならない。

第三にロータリーは個別の奉仕が基本であるから、学んだ理論を個々に実践に移さなければならない。

第四に個人としてもクラブとしても、この両面からロータリアンのみでなく、一般社会の人達にこの理論を提唱しなければならない。

第3節は国際ロータリー存在の目的について

国際ロータリーは1910年8月当時、全米16ロータリー・クラブから委託された業務を行う連

### ニコニコ箱

坂井副 S . A . A

ホームクラブ皆出席 久保、長澤、坂井、辰巳  
貴重なお時間を頂き誠に有難うございました

大阪西 RC 辻田様

3 RC 訪問素晴しかったです 全員元気に帰ってまいりました 留守中色々有難うございました

会長、幹事

ｲﾝﾄﾞ ｷﾞﾗﾞ ｷﾞﾗﾞ 島で無事に国際奉仕活動ができました  
先輩のご協力に感謝します 笠原

ﾊﾞﾘ、台北より元気に帰ってきました 久保

台北西北 RC の45周年記念例会に急ぎよ参加してまいりました 旧交を暖め楽しい集会でした 無事  
帰国祝 ご参加の皆様ご苦労さまでした 大森

簡さんより台北の写真を頂きました 大森

台北西北 RC 訪問時にガバナーより初タイを頂いて坂井  
戸川会員先日は有難うございました 楽しい観戦でした 山田

何か?の記念日に 田中

台北西北 RC のゴルフ大会でﾌﾟﾗﾝ、飛賞を頂き 辰巳  
ハリケーン「カトリーナ」義援金 ￥55,000

合体である。この性格は現在に至るまで変わりなく続いてきた。

国際ロータリー存在の目的は、連合体結成当時、

- a. 奉仕理念の育成・普及・推進
- b. ロータリーの拡大・強化 の二つであったが、その後、
- c. ロータリー・クラブ間の調整、情報のプール、交換の業務 が加わり3点に絞られている。

第4節はロータリー・クラブの奉仕についてロータリーの奉仕の精神と実践との調和を説いているのであり、端的にいえば、実績できないことは、口にすな、ということである。

クラブで行う奉仕の財源には限度がある。

しかし、地域のニーズは無限にあり、その無限のニーズの中からひとつだけ奉仕すれば、その他のニーズを待たせることにある。これでは、一部のものを奉仕するために、他のものを待たせることになり、不公平になる。

第5節は国際ロータリーの奉仕に対する考え方についてロータリー・クラブと国際ロータリーとの関係について

1. 第1項に、各ロータリー・クラブは、地域に対する奉仕について、絶対的自治権、自主独立性を持つものである。
2. 第2項に、クラブも国際ロータリーの指導と助言を受け入れること。ただし、国際ロータリーは各ロータリー・クラブの活動に対し、それが綱領から大きく逸脱しない限り、これをやれと命じたり、これをやるなと禁止したりしてはならない。

第6節は奉仕活動各論について

A. 他に市民団体が無い場合、クラブは、地域社会の奉仕活動に発言や行動はしてもよいが、市民の支持なしで成功しないような場合は避けなければならない。

例えば、市民団体・商工会議所などの仕事を邪魔したり、横取りしてはならない。

むしろ、ロータリーの理念をよく理解している個人として、そも団体の会員となって、金銭や仕事で、その分を果たすよう。

- b. それがどんなに立派な活動であっても、クラブが責任を負う用意のない場合は、事業を後援してはならない。
- c. 奉仕活動を宣伝の主目的にしてはならない。しかし、立派に遂行した事業は正しく広報せよ。
- d. 仕事の重複を避け、他の機関が立派におこなっ

ている場合は、乗り出すな。

- e. 奉仕活動は現存機関への協力が望ましい。その機関に不具合があっても、別に新機関を作らず、現存のものを活用せよ。
- f. ・ 地域で問題を発見しても、地域全体が責任を持つようなことには、クラブは手をだすな。
  - ・ 地域に責任を自覚させ、クラブだけの責任にならないよう
  - ・ 事業を始めても、あるいは指導しても他の協力を得よう
  - ・ 仕事の成果への評価は、他に厚く自らは他に手柄を譲るよう
- g. ・ ロータリーの奉仕活動は、クラブの行動よりはロータリアン個々の力を動員するのが、ロータリーの精神に適っている
  - ・ クラブの奉仕活動は、会員に奉仕の訓練を施すための研究室の実験のようなものだ

このように、最後の締め括りとして、もう一度、個人奉仕が本来の姿であると念を押しているのである。